

第11回日本公衆衛生看護学会学術集会 開催案内

この度、第11回日本公衆衛生看護学会学術集会を仙台国際センターおよび一部オンラインにて開催させていただきますことになりました。

第11回学術集会では、「ポストコロナ社会における公衆衛生看護への期待 ～新たなコミュニティケアシステムの創出～」をメインテーマに掲げます。2019年末以降、新型コロナウイルス感染症はパンデミックとなって、人々の生活は変化し、経済活動にも大きな影響をもたらしました。この結果、個人間や地域間の健康格差にも影響を及ぼし、生活習慣病、メンタルヘルスや自死、虐待等、従来の健康課題の増悪が進みました。また、社会に取り残される社会的孤立者の増加や、コミュニケーションの変化から発生する新たな健康課題への対応も求められています。

このような多様な健康課題の解決に向けて、公衆衛生看護従事者が活躍しています。人手不足が深刻な中、担当部署や所属機関内の体制を強化し、地域の資源を活用しながら、個人のケアシステム構築から、地域のニーズに対応した健康づくりのためのシステム構築を進めてきました。今後も、これらの経験をもとに、ポストコロナ社会に対応した様々なシステムを創造していくことが期待されています。

第11回学術集会では、ポストコロナ社会における公衆衛生看護について皆様と意見を交換し、交流する機会を持てるようなプログラムを準備いたしました。また、多様なスタイルで多くの方にご参加いただけるように、オンラインか会場参加を選べる本学会初のハイブリッド開催を予定しました。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

第11回日本公衆衛生看護学会学術集会

学術集会会長 安齋 由貴子（宮城大学看護学群看護学類）
学術集会副会長 只野 里子（全国保健師長会宮城県支部／宮城県）

メインテーマ：ポストコロナ社会における公衆衛生看護への期待
—新たなコミュニティケアシステムの創出—

会 期：2022年12月17日（土）・18日（日）**現地開催**
（2023年1月31日まで オンデマンド配信）

会 場：仙台国際センター（仙台駅から地下鉄5分 国際センター駅徒歩1分）
および Web

Web サイト： <https://japhn11.yupia.net/>

後 援：厚生労働省、文部科学省、公益社団法人日本看護協会、一般財団法人日本公衆衛生協会、全国保健所長会、全国保健師長会、一般社団法人日本産業保健師会、公益社団法人宮城県看護協会、一般財団法人宮城県公衆衛生協会、宮城県、仙台市、大和町、宮城県市長会、宮城県町村会、公立大学法人宮城大学（順不同）

事 務 局：公立大学法人宮城大学看護学群
E-Mail： japhn11@myu.ac.jp （各種お問い合わせ先は最終ページ参照）

演題・ワークショップ登録期間 2022年6月1日（水）～8月19日（金）

参加登録期間 2022年6月1日（水）～2023年1月31日（火）

プログラム

※変更の可能性があります

○会長講演

ポストコロナ社会における公衆衛生看護への期待
安齋 由貴子 (宮城大学看護学群 教授)

○特別講演

健康日本 21 (第二次) の最終評価とこれからの健康づくり
辻 一郎 氏 (東北大学大学院医学系研究科公衆衛生学 教授)

○健康危機管理セミナー

これからのパンデミック対策～COVID-19 パンデミックの経験から～
押谷 仁 氏 (東北大学大学院医学系研究科微生物学分野 教授)

地域における健康危機管理システム～東日本大震災と COVID-19 の経験から～
石井 正 氏 (東北大学病院総合地域医療教育支援部 教授)

公衆衛生看護における健康危機管理の仕組みづくりとマネジメント
春山 早苗 氏 (自治医科大学看護学部 教授)

○公衆衛生看護セミナー

ポストコロナ時代の母子保健
～聴こえない声に耳を澄まし、地域で支援する保健師の役割～
中板 育美 氏 (武蔵野大学院 看護学研究科 教授)

時代に応じた産業保健看護職の基礎教育とスキルアップ
五十嵐 千代 氏 (東京工科大学医療保健学部看護学科 学科長・教授
／産業保健実践研究センター長)

公衆衛生看護学研究における実践者と研究者との連携
田高 悦子 氏 (北海道大学大学院保健科学研究院 教授)

○シンポジウム 1

健康は未来を創る力になる～地域を想い、ともに歩む～地区保健活動の実践
シンポジスト交渉中

○シンポジウム 2

住民主体のコミュニティづくり～共に創る誰もが生きやすい地域づくりと保健師活動～
石田 祐 氏 (宮城大学事業構想学群 教授)
庄司 昌彦 氏 (武蔵大学社会学部メディア社会学科 教授)
磯村 直美 氏 (角田市地域包括支援センター所長)

○シンポジウム 3

ポストコロナ社会における企業の健康管理—過去・現在・未来
岡田 睦美 氏 (富士通株式会社健康推進本部健康事業推進統括部健康支援室)
中野 愛子 氏 (株式会社日立製作所人財統括本部
デジタルシステム&サービス人事総務本部
京浜地区産業医療統括センタ)
森鍵 祐子 氏 (山形大学大学院医学系研究科看護学専攻 教授)

○シンポジウム 4

東日本大震災から 11 年 ～私たちが学び、未来に伝えたいこと～

- 只野 里子 (宮城県高等看護学校 校長)
- 横野 富美子 氏 (宮城県大崎保健所栗原支所 地域保健専門監)
- 大槻 文子 氏 (宮城県丸森町保健福祉課 参事兼技術補佐)
- 奥田 博子 氏 (国立保健医療科学院健康危機管理研究部 上席主任研究官)

○シンポジウム 5

歯科口腔保健をきっかけに広げる地域保健の推進と展望
～ 健口づくりから地域包括ケアシステムまで～

- 小関 健由 氏 (東北大学大学院歯学研究科地域共生社会歯学講座 予防歯科学分野 教授)
- 佐々木 早苗 氏 (宮城県美里町健康福祉課健康推進室 技術主幹兼保健係長)
- 小田嶋 保子 氏 (秋田県健康福祉部健康づくり推進課 主査)
- 村松 真澄 氏 (札幌市立大学看護学部老年看護学領域 准教授)

○市民公開講座

「声」を磨いて、イキイキ、ハツラツ！ ～健康維持のための発声ボイストレーニング～
高橋 寿和 氏 (TAKAHASHI VOICE PRODUCTION)

○その他

一般演題、ワークショップ、共催セミナー 等

※上記は予定であり、今後変更の可能性があります。詳細は Web サイトにてご確認ください。

ハイブリッド開催の概要

※変更の可能性があります

12月17日(土)～18日(日)

場所	メインプログラム	一般演題	ワークショップ
現地会場	各講演を実施します	× (現地発表はありません)	「現地開催型」のワークショップを開催します
Web上	現地会場で実施している講演を、Zoom等でライブ配信します	発表者が提出した発表動画やPDFをオンデマンド配信します(質疑応答は掲示板で実施)	1) 「Web開催型」のワークショップをZoom等で開催します 2) 「現地開催型」のワークショップのうち、世話人が自身でZoom等のライブ配信をするものがあります

12月19日(月)～1月31日(火)まで

場所	メインプログラム	一般演題	ワークショップ
Web上 (オンライン開催ページ)	記録動画をオンデマンド配信します	発表者が提出した発表動画やPDFをオンデマンド配信します(質疑応答は掲示板で実施)	世話人の希望により、1つのワークショップにつき動画1件をオンデマンド配信します(配信しないワークショップもあります)

※ 「ライブ配信」と「オンデマンド配信」について

- ・ Zoomなどで、その時間に実施されているものがリアルタイムに配信されるものを「ライブ配信」といいます。
- ・ これに対してオンデマンド配信は、Web ページに動画などを掲載しておくことで、配信期間内の好きな時間に、いつでも何回でも、ご自身の都合に合わせて視聴ができます。

学術集会の参加登録について

1. 参加費と参加登録期間

	会員 ^{※1}	非会員	学生 (フルタイムの院生を含む)
前期 6/1～9/30 入金は10/31まで ゆうちょ・ペイパル対応	10,000円	11,000円	5,000円
後期① 11/7～12/9 ゆうちょ・ペイパル対応	11,000円	12,000円	
後期② 12/10～1/31 ペイパルのみ対応	11,000円	12,000円	

※1 会員として参加された方が開催終了時点で学会入会の手続きをされていなかった場合には、非会員の参加費との差額をご請求いたします。

<参加費の入金方法について>

- ・ 前期および後期①の期間には、ゆうちょ銀行への入金、またはペイパル^{※2}を利用して入金することができます。前期登録をされた方は10月31日までに入金してください。
- ・ 後期②の期間はゆうちょ銀行への入金はできません。入金方法はペイパル^{※2}のみとなります。

※2 ペイパルは世界的に利用されている安全性の高い決済方法です。請求者（学術集会）にクレジットカード情報を知られることなく、クレジットカードでのお支払いが可能です。事前の設定により、デビットカードや口座振替も利用できます。ペイパルの利用にはアカウント登録が必要です。モバイルアプリでもご利用いただけます。

<講演集について>

- ・ 講演集はPDFファイルをダウンロードしていただく形で配布します。
- ・ 印刷冊子をご希望の場合には、1部2,500円（送料込）もしくは現地会場にて1部2,000円にて、どなたでも購入いただけます（売り切れの際はご容赦ください）。注文方法は後日Webサイトでご案内します。

2. 参加登録方法

- ・ 学術集会Webサイトから、オンラインにてご登録ください。
- ・ 自動返信メールにて、登録番号と合計金額、振込先口座が通知されます。
- ・ 期間内に同封の払込取扱票か、郵便局に備え付けの青い払込取扱票またはペイパルでお支払いください。

インターネットバンキングや郵便局以外からの振り込みも可能です。

なお、請求書が必要な場合や、領収書についてのご案内はWebサイトに掲載しています。

留意点・お願い

- ・ 過去の学術集会に申し込んだ方も、第11回にご参加の場合は改めてお申し込みが必要です。
- ・ 入金時には第11回学術集会の登録番号を必ず記入してください（学会の会員番号とは異なります）。振込となる場合は振込人名の頭に番号を添えてください。
- ・ 前期登録の方は10月31日まで、後期登録の方は1月31日までに参加費の入金を完了してください。なお、学術集会参加費は学会員の年会費とは異なります。
- ・ ネットワーク上のトラブル、入金口座の間違いなどにより登録が完了しなかった場合でも、その責は負いません。
- ・ オンライン開催ページの参加方法の詳細は11月中旬にWebサイトに掲載します。
- ・ 入金済みの参加費については原則としてご返金は致しかねますこと、何卒ご了承ください。

一般演題募集について

1. 一般演題について

以下の内容・形式の一般演題を募集します。
いずれの場合も、演題は発表時点で未発表のものに限ります。

項目	詳細
内容種別	<ul style="list-style-type: none">・活動報告 公衆衛生看護に関係する実践的な活動をまとめたもので、他地域で同様の事業を展開する者に参考になるような報告。 活動目的、活動内容、活動成果、今後の計画・課題等について報告する。・研究報告 公衆衛生看護に関係する調査・研究をまとめた報告。 研究目的、方法、結果、考察を論理的に報告する。
形式種別 ※12月に再選択可能 (右記は予定であり、変更の可能性があります)	<ul style="list-style-type: none">・オンライン発表（口演または示説） 発表用ファイル（口演の場合は5-10分の動画、示説の場合はPDFファイル）をオンライン開催ページに掲載する。参加者は12月17日から会期終了までいつでも視聴可能。各演題の掲示板で質疑等対応を実施。 (演題発表者は、12月5日までに発表用ファイルを提出する。ファイルの作成および提出方法等の詳細は、査読結果通知後に改めて連絡予定。)・誌上发表 講演集に掲載される演題登録時の抄録をもって発表とする。発表用ファイルの作成不要。オンライン開催ページには事務局がタイトル・発表者と誌上发表である旨を表示する。各演題には掲示板があり、質問等を受ける場合があるが、質問への回答は必須としない。

2. 応募資格

- 1) 筆頭者・共同発表者は**全員**、本学会の会員であること。
(非会員の場合は、演題登録期間内に入会申込を行うこと。)
- 2) 筆頭者は必ず演題登録期間内に参加費を支払うこと。
- 3) 一般演題において、筆頭者となるのは**1題のみ**。
(複数演題の共同発表者となることは可能。ワークショップの筆頭者になることも可能。)

共同発表者には、演題登録前に必ず本学会入会への同意を得てください(学会の年会費が必要となります)。入会手続きについては学会 Web サイト (<https://japhn.jp/>) の「入会案内」をご参照ください。

3. 登録期間および方法

登録期間 2022年6月1日(水)～8月19日(金)

登録方法：学術集会 Web サイトから、オンラインにて登録(抄録本文1,000字以内)

- ・ 学会入会手続き中・会員番号不明の場合も登録が可能です。
- ・ 必ず倫理的配慮および利益相反についてご記入ください。倫理的配慮の記載例やその他の詳細は学術集会 Web サイトでご確認ください。
- ・ 登録期間中は何度でも修正が可能です。詳細は登録後の自動返信メールをご覧ください。

- ・ 希望する発表領域を第 2 希望まで選択して頂きますが、調整の結果ご希望通りにならない場合がありますことをご了承ください。

4. 査読および通知

- ・ 体裁、内容、倫理的配慮、利益相反の観点で査読を行い、9 月中旬～下旬に E-mail で査読結果をお知らせします。修正が必要な場合は 9 月下旬に修正して頂く予定です。
- ・ 発表演題群や演題番号は、10 月中に E-mail および学術集会 Web サイトにてご案内します。
- ・ 発表用ファイルの作成方法は、10 月頃に E-mail および Web サイトでお知らせします。12 月 5 日までにファイルを提出していただく予定です。

5. 優秀演題の選考について

- ・ 優秀演題賞を選出し、表彰を行います。選考基準や方法は Web サイトでご確認ください。

ワークショップ募集について

1. ワークショップについて

1) 趣旨

ワークショップ（以下、WS）は、公衆衛生看護のテーマについて、参加者との意見交換を通じて理解を深め、学び合う、双方向的な発表形式です。また、公衆衛生看護に関連した内容について、公衆衛生看護のテーマに関連する保健活動の担当者や研究者の交流を目的とした場とすることも可能です（例：新任保健師の交流集会、学校保健領域の交流集会等）。

（同窓会、宗教活動、単位認定を伴う研修会・講習会等をご遠慮ください。）

〔留意点〕 類似内容の申込がある場合には、プログラム委員会での審議の上、企画委員会で抽選とさせていただきます場合があります。また、研究成果ならびに最近の実践活動上のトピックスに関するディスカッションを目的としたもの、類似のテーマで他の学会等で実施していない企画を優先します。

2) 開催方法種別 ※予定であり、変更の可能性があります

「現地開催型」もしくは「Web 開催型」のいずれかを選択してお申し込みください。

開催方法種別	詳細
① 現地開催型	<ul style="list-style-type: none">・ 現地会場にて開催していただきます。・ 会場に世話人ご自身で機材を持ち込み、「現地＋オンライン型（ハイブリッド）」とすることも可能です。その場合、学術集会事務局は URL 等の告知を行います。配信用の機材は用意しません。・ 会場のインターネット回線（Wi-Fi）が利用できますが、接続数（数台まで）の制限があります。また、事務局ではトラブル発生時の責任を負いかねますこと、ご了承ください。
② Web 開催型	<ul style="list-style-type: none">・ Zoom、meet 等、Web 会議システムを用いたオンラインミーティングにより開催していただきます。・ 世話人の方に、ご自身でミーティングを設定していただきます。・ 後日事務局から、オンラインミーティングのアプリ種別・URL・パスワード・日時等の告知用の情報をお尋ねします。

※ ①②いずれにつきましても、参加者からの事前参加申込の受付はできません。

※ ①②いずれにつきましても、ご希望の場合は開催の様子を記録した動画 1 件をオンライン開催ページに掲載し、オンデマンド配信することができます。

※ 開催日時については、学術集会事務局が時間枠を設定して事前に調整させていただきます。

※ オンライン開催ページへの告知掲載は学術集会事務局が行います。

2. 応募資格

- 1) 筆頭世話人・共同世話人は**全員**、本学会の会員であること。
（非会員の場合は、WS 登録期間内に入会申込を行うこと。）
- 2) 筆頭世話人・共同世話人は**全員**、WS 登録期間内に参加費を支払うこと。
- 3) WS において、筆頭世話人となれるのは**1 題のみ**。
（複数 WS の共同世話人となることは可能。一般演題の筆頭者になることも可能。）
- 4) 同一グループからの応募は**1 件に限る**。
- 5) 共同世話人がいることを原則とする（筆頭世話人のみでの申込は不可）。

共同世話人には、WS 登録前に必ず本学会入会への同意を得てください（学会の年会費が必要となります）。入会手続きについては学会 Web サイト (<https://japhn.jp/>) の「入会案内」をご参照ください。

3. 登録期間および方法

登録期間 2022年6月1日(水)～8月19日(金)

登録方法：学術集会 Web サイトから、オンラインにて登録（抄録本文 1,000 字以内）

- ・ 抄録に記載する内容等の詳細については Web サイトにてご確認ください。
- ・ 登録期間中は何度でも修正が可能です。詳細は登録後の自動返信メールをご覧ください。
- ・ 本学会の過去の学術集会において、同様のテーマで WS を実施されたことがある場合は、過去の企画内容と今回の応募内容の関連性や発展性について抄録にお書きください。
- ・ 類似のテーマで他の学会等で実施していない企画を優先します。実施されたことがある場合は、登録フォームにて申告してください。

4. 選考および通知

- ・ 内容、抄録の構成、倫理的配慮の適切性等の観点で選考を行い、9月中旬～下旬に E-mail で採否結果をお知らせします。修正が必要な場合は9月下旬に修正して頂く予定です。
- ・ 開催日時については9月下旬～10月中旬に確認・調整をさせていただき、その後 WS 番号をお知らせします。

●第 11 回学術集会の参加・演題登録等に関するお問い合わせ

第 11 回日本公衆衛生看護学会学術集会運営事務局

〒456-0005 名古屋市熱田区池内町 3-21 (株) ユピア内

TEL : 052-872-8101 (平日 10-16 時) FAX : 050-3737-7331 E-Mail : japhn11@yupia.net

●学会入会・学会年会費に関するお問い合わせ

一般社団法人日本公衆衛生看護学会 事務支局

〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入西大路町 146 中西印刷 (株)

TEL : 075-415-3661 FAX : 75-415-3662 E-Mail : japhn@nacoss.com

日本公衆衛生看護学会ホームページ <https://japhn.jp/>

[開催中止の判断について] 感染症の流行等や災害により開催自粛や中止が必要な場合、日本公衆衛生看護学会理事長と協議の上速やかにオンライン開催中止を決定し、学術集会を講演集による誌上発表に切り替えます。中止決定は学術集会 Web サイトに緊急掲示するとともに、各演者等にはメール等でご連絡いたします。